



漁況情報

【9月中旬】真鶴：定置網・キハダ豊漁

9月12日、真鶴町漁協の自営定置にキハダが843本入網しました。また、翌日以降も100本前後の入網が続き、嬉しい豊漁となりました。サイズは20kg台～60kg台で、日によってばらつきがあったそうです。1日に800本を超えるのは初めてのことでした。



水揚げされたキハダ(9/17撮影)

浜の話題

【8月15日】県漁連、県：漁業就業支援フェア・コンテスト入賞

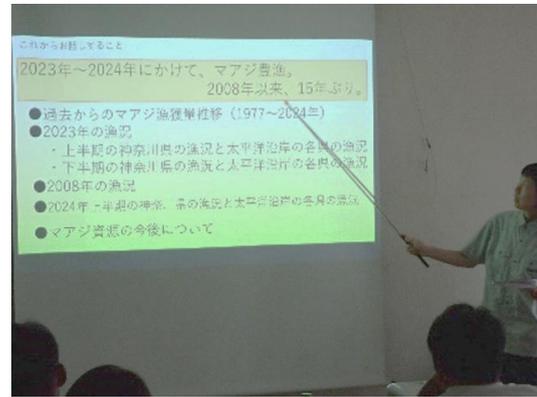
7月15日に東京で開催された「漁業就業支援フェア2024」の出展ブースコンテスト(8月15日結果発表)で、神奈川県漁連及び県のブースが、装飾部門で第3位、雰囲気部門で第2位に選出されました。当日出展した各定置網漁業者では、フェア後に1～2名の乗船体験を受け入れており、やる気のある漁業就業希望者との良いマッチングの機会となっています。



東京で開催された「漁業就業支援フェア2024」の様子

【9月13日】定置漁業研究会、県：定置網漁海況説明会

9月13日、県定置漁業研究会と相模湾試験場は小田原水産合同庁舎で第1回相模湾定置網漁海況説明会を開催しました。当センターの研究者から、「令和6年上半期の漁海況経過と令和6年下半期の見通し」、「2023～2024年にかけてのマアジ豊漁について」、「マサバ太平洋系群の動き」の3課題について、話題提供がありました。漁業者や関係団体など計31名の参加があり、盛況な会となりました。



話題提供の様子

【9月14～16日】小坪：「小坪魚々祭り」

9月14～16日、小坪漁港において、小坪漁協所属の漁業者グループがフードイベント「小坪魚々祭り」を開催しました。サザエの浜焼き、しらす丼等のフード屋台の出店やイセエビ釣り等が催され、多数のお客様ににぎわいました。



会場の様子(漁業者提供)

【9月17日】腰越、小田原、岩、真鶴：カサゴ・メバル種苗放流

9月17日、(公財)相模湾水産振興事業団は、腰越漁協、小田原市漁協、岩漁協及び真鶴町漁協立ち会いのもと、各浜地先でカサゴ及びメバル種苗合計41,000尾(各5,000尾、腰越のカサゴは6,000尾)をそれぞれ地先漁場へ放流しました。



種苗放流の様子

【9月25日】小坪：漁業者の食育等・新聞掲載

小坪の漁業者ダビデ丸(市川さん)が、魚食普及や食育等に取り組む目標について、日本経済新聞の取材を受け、9月25日に同紙電子版に掲載されました。

ダビデ丸さんは、英語教師から転職し、小坪の傳兵衛たつ丸に師事し3年間の研修を受け、今年独立しました。これから漁師として実力をつけながら、子どもたちに海や魚の魅力を伝える取り組みに期待します。

日経電子版記事 <https://www.nikkei.com/article/DGKKZ083651120U4A920C2L82000/>

【9月26日】しらす協議会：役員会

9月26日、しらす協議会は江の島片瀬漁協で役員会を開催しました。当日は、11月19日(火)に鎌倉パークホテルで開催するしらす協議会漁業者研修会の研修テーマ等について協議し、①しらす漁の今と昔、②資源管理型漁獲共済加入事例について、③スマート事業 ソナー導入によるカエリ保護と操業効率化に関する情報交換の3課題について、研修会を開催することになりました。

【9月30日】葉山：サザエ種苗放流

9月30日、湘南漁協葉山支所は、(公財)相模湾水産振興事業団の支援を受け、サザエ種苗20,000個(漁協・事業団各10,000個)を放流しました。多くの漁場が磯焼けとなっているなか、カジメが生えている2か所の岩礁を中心に放流しました。



サザエ種苗



放流の様子

お知らせ

【2月22日】漁師.jp：「漁業就業支援フェア2025冬」

2月22日(土)に「漁業就業支援フェア2025冬」を、漁師.jp(全国漁業就業者確保育成センター)が大田区産業プラザpioで開催します。就業者を募集されている方は是非ご参加下さい。

漁師.jp フェア情報 <https://ryoushi.jp/fair/>